

「梨花」

西野 優莉

春に咲く 白い花

いつの間にか、咲いている

さらさらとまだ少し冷たい風が吹く

気持ち良さそうに歌う風

それに合わせて花も歌う

「うらやましいな 私と一緒に歌いたい。」

変な形のあの子が言う

私達と一緒に歌えばいいのに

春に踊る 白い花

今日も青い風とじゃれ合っている

「私と一緒に踊ろうよ 私、いつもさびしいの。」

あの子、人間っていうらしい

白い花も、風も、踊りたがってる

なのに踊らないあの子

名前も知らないけど、

何でか気になってしまっんだ

最近、あの子を見なくなったんだ

なんでだろう

風はいつも、

「一緒に遊ぼう。」

と言っているのに

白い花は苦しそうにもがいてる

前は楽しかったのに

また、一緒に歌いたい

また、一緒に踊りたい

晩春に散る 白い花

いつの間にか、散っている

さらさらと熱風の混じった風が吹く

悲しそうに嘆く風

それに合わせて吹いてくる風

変な形のあの子はきつと

遠い、遠い、あの空へ

旅に出たんだ

次に咲くのはいつになるだろう

また、あの子に会えるといいな